

Beautiful Composition

久保田晃弘 <akihiro.kubota@nifty.com>

プログラム・コードで作曲する、とは一体どういうことなのだろうか。

まず、コードは作曲のための記譜法のひとつである。

同時に、コードは演奏のための楽器でもある。

コードを通じて作曲と演奏が一体化する。

音楽の聴こえる美しさと、コードから見える美しさがある。

美しい作曲と美しい演奏。

コードという表現だけで、音を想像することが可能だろうか。

コードの構造が、音に反映する必要があるだろうか。

何かの代用品ではなく、それ自体しか持ち得ない質がある。

コードの本質は抽象にある。

コードによる抽象から生まれる構造の美。

アルゴリズムは構造を記述し、パラメータがその構造にスケールを与える。

抽象は簡潔さを生む。

簡潔さ (conciseness) と単純さ (simplicity) は異なる。

冗長を排除する簡潔さから生まれるものは何か。

より少ない表現で、より多くのことを行う。

コードを少なくしていくことで、より豊かな音をつくる。

簡単なものを複雑にするのではなく、複雑なものを簡単にしていくこと。

作曲は削除の過程である。

重要なのは、何が書いてあるかではなく、どのように書いてあるかである。

コードによる作曲を芸術のレベルにまで高めること—それを「コードの技法 (The Art of Code)」と呼ぶ。

参考文献

久保田晃弘 & 山路敦司「コード・コンポジション入門」<http://dp.idd.tamabi.ac.jp/dsc/>

Andy Oram & Greg Wilson 編「ビューティフルコード」オライリージャパン, 2008.

岡部 真一郎「ヴェーベルン—西洋音楽史のプリズム」春秋社, 2004.